

「第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略」概要

府 第2期大阪府まち・ひと・しごと創生総合戦略 (2020~2024年度)

※R2.3.31策定
R3.3.31改訂
R5.8.31一部改訂
R6.3.31一部改訂

新型コロナ感染拡大による大阪経済や府民生活への影響、意識・行動変容を踏まえた上でウィズコロナ、ポストコロナを踏まえたまち・ひと・しごとの創生を推進していく。

基本目標・基本的方向

I) 若者が活躍でき、子育て安心の都市「大阪」の実現

① 若い世代の就職・結婚・出産・子育ての希望を実現する

KPI: 就業率(若者、女性): 全国平均を上回る
合計特殊出生率: 前年を上回る

- 若者の安定就職支援、職場定着支援
(若者の就職、職場定着支援 高校生に対する府内中小企業の魅力発信 等)
- 女性の活躍推進
(ワーク・ライフ・バランスの推進、女性の職域拡大 等)
- 結婚・妊娠・出産・子育て環境の充実
(子ども・子育て支援新制度、放課後児童クラブ等の拡充、事業所内保育施設の開設支援 等)

② 次代の「大阪」を担う人をつくる

KPI: 全国学習調査正答率: 全国水準の達成・維持をめざす(小6・中3)
全国体力等調査評価: 全国水準をめざす
高校生就業率: 全国水準をめざす

- 次代を担う人づくり
(学力・体力の向上、生きる力をはぐくむ教育、英語教育の充実などグローバル人材の育成 等)
- 子どもをめぐる課題への対応
(少年非行等への対応、児童虐待への対応、地域の特色を活かした教育の実施 等)

II) 人口減少・超高齢社会でも持続可能な地域づくり

③ 誰もが健康でいきいきと暮らせるまちづくり

KPI: 健康寿命: 2歳以上延伸
障がい者実雇用率: 2.3%以上

- 健康寿命の延伸
(健(検)診の促進、生活習慣の改善、健康アプリ「アスマイル」等)
- 高齢者等がいきいきと暮らせるまちづくり
(地域包括ケアシステムの構築、地域医療構想の実現、先端技術の活用による住民生活の向上 等)
- あらゆる人が活躍できる「全員参画社会」の実現
(あらゆる人が活躍できる環境づくり、全ての人の人権が尊重される社会の実現、外国人材の円滑な受入れ促進 等)

④ 安全・安心な地域をつくる

KPI: 地震による被害予測: 限りなくゼロに
【2024年まで】
温室効果ガス排出量:
2030年度の府域の温室効果ガス排出量を2013年度比で40%削減

- 安全・安心の確保
(国土強靱化計画に基づく災害対策強化、南海トラフ巨大地震対策、治安・防犯の推進 等)
- 都市基盤の再構築
(ファシリティマネジメント推進 等)
- 環境にやさしい都市の実現
(脱炭素社会の実現、プラスチックごみ対策、食品ロス対策等)

III) 東西二極の一極としての社会経済構造の構築

⑤ 都市としての経済機能を強化する

KPI: 実質経済成長率: 2022年度に府内総生産(実質)をコロナ前の水準に戻す。それを踏まえ、年平均2%以上
開業事業所数: 10,000か所

- 産業の創出・振興(イノベーションの創出、グローバル拠点都市、起業・第二創業、先端技術を活用した生産性の向上、国際金融都市の実現等)
- 企業立地の促進(東京圏等への経済機能の流出抑制)
- 活力ある農林水産業の実現
(都市型農業振興、農水産物、特産品海外展開 等)
- 多様な担い手との協働(民間など担い手との幅広い連携)
- インフラの充実・強化(広域交通インフラ整備 等)

⑥ 定住魅力・都市魅力を強化する

KPI: 日本人延べ宿泊者数〔大阪〕: 3,400万人泊
来阪外国人旅行者数: 1,500万人
【2025年達成目標】
転入超過率(対全国): 前年を上回る
転出超過率(対東京圏): 前年を下回る

- 定住魅力の強化
(居住魅力の発信、スマートシティ推進による住民のQoLの向上、テレワーク・リモートワークの推進、空家の多様な活用 等)
- 都市魅力の創出・発信
(外国人観光客の受入環境整備、世界遺産を活かした観光提案、公共施設を活用した観光提案、スーパーシティの推進、大阪特産品の商品力向上 等)

重点取組方向

◎ 万博のインパクトを活かした取組み

万博開催を一過性のものとせず、そのインパクトを最大限に活かし、「大阪の持続的な成長」と「府民の豊かな暮らし」を確たるものとするともに、SDGs達成に向けた未来をつくるため、3つの方向性(①多様なチャレンジによる成長、②いのち輝く幸せな暮らし、③世界の未来をともにつくる)で取組みを推進します。

◎ SDGsの推進

SDGsの取組みは、大阪が未来に向かって持続的に成長し、府民一人ひとりが「豊かさ」や「安全・安心」を実感できる社会へと発展する基盤づくりにつながるものです。大阪府では、「SDGs先進都市」をめざすこととしており、SDGsの理念を踏まえ、「人口減少・超高齢社会」においても持続可能な発展を実現できるよう取組みを推進します。

◎ スマートシティ実現に向けた取組み

国がめざすSociety5.0の実現や、人口減少・超高齢社会の到来を見据え、住民の生活の質(QoL)の向上や都市機能の強化を図るため、万博開催を大きなインパクトとしながら、府域全体で先端技術の利便性を住民に実感してもらえるよう、「大阪モデル」のスマートシティ実現に向けた取組みを進めます。